

[成果情報名] フナの体幅からの体重の推定方法

[要 約] フナの体幅と体重の関係式を算出し、サイズ別の選別を行う目安として活用できるよう体幅と体重の対応表を作成した。

[部 署] 山形県内水面水産試験場・生産開発部

[連絡先] TEL 0238-38-3214

[成果区分] 指

[キーワード] フナ、体幅、体重、選別

[背景・ねらい]

生産したフナのサイズを一定範囲で揃えることができれば、出荷先の需要に応じたきめ細かい食材提供等が可能となる。そのため、フナをスリット式選別器で効率的にサイズ分けできるよう、体幅と体重の関係式を算出し、選別サイズの目安として活用できるよう体幅と体重の対応表を作成することとした。

[成果の内容・特徴]

1. 試験場内で採卵・飼育した当オギンブナについて、取上げ・加工時期である12月に60尾の体幅と体重を計測し、次の関係式を算出した（図1）。

$$\text{関係式： } y=0.0444x^{2.2579}$$

(x: 体幅 (mm)、y: 体重 (g))

2. 関係式から体幅と体重の対応表を作成した（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 現在、川西町の生産者は10mmの目合で選別し、大きいサイズはムクリブナとして、小さいサイズは甘露煮やマリネ等として加工を行っているが、本成果の表を参考として規格を設定することで出荷先の需要に応じたきめ細かい食材提供が可能となる。

[具体的なデータ]

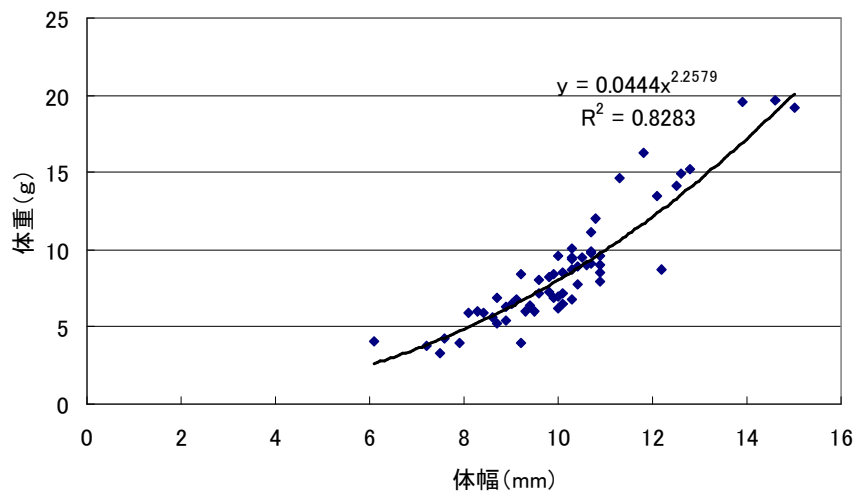


図1 ギンブナの体幅と体重の関係

表1 体幅と体重の関係対応表

体幅(mm)	体重(g)
8	4.9
9	6.3
10	8.0
11	10.0
12	12.1
13	14.5
14	17.2
15	20.1

[その他]

研究課題名：休耕田を利用した複合養殖技術の開発

予算区分：県単

研究期間：平成24年度（平成22～24年度）

研究担当者：大川恵子

発表論文等：なし